

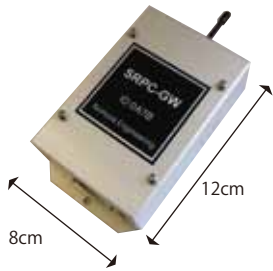


気象ハンディ警報システム

長距離無線通信で、気象観測機からの警報を手元で受信

基本構成

各種センサー、気象観測機、ゲートウェイ、ハンディ警報機の構成です。
気象観測や防災などに利用できます。



ゲートウェイ

ゲートウェイ SRPC-GW

気象観測機のデータを特定小電力無線を使用し回収。
コネクタ：LAN
マイクロUSBメス
電源：AC電源（5V）
無線：429MHz帯特定小電力無線
（通信距離：見通し2km）

* スタンドアロンPCで使用できる
無償のWindowsソフト有り。
（自動ファイル保存、ログ管理、
分析機能付き）。



ハンディ警報機

ハンディ警報機 TS02ENH2-WTR

気象観測機とゲートウェイ間で通信するデータを監視。しきい値、設定範囲を超えたデータを受信した場合、LED・ブザー・バイブで通知。
設定数：8（各ボタンにLED）
電源：充電式
無線：429MHz帯特定小電力無線
（通信距離：見通し2km）



風向風速計

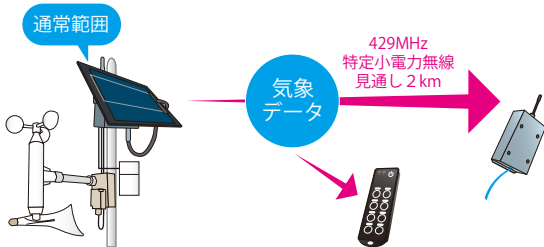
雨量計

気象観測機 SRPC-WJ-WS

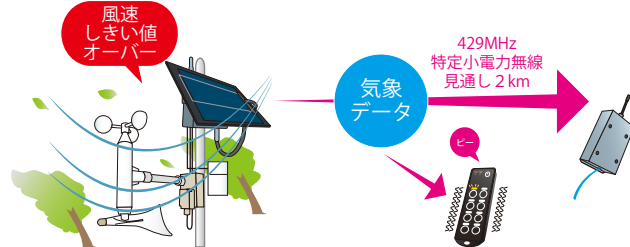
気象観測データを各種センサーから回収。特定小電力無線を使用しゲートウェイへ送信。
気象観測機同士は無線で連結可能（中継機能 / 最大10台）
重量：約1kg（センサー除く）
電源：不要、太陽電池で自立運転
無線：429MHz帯特定小電力無線
（通信距離：見通し2km）

システムイメージ

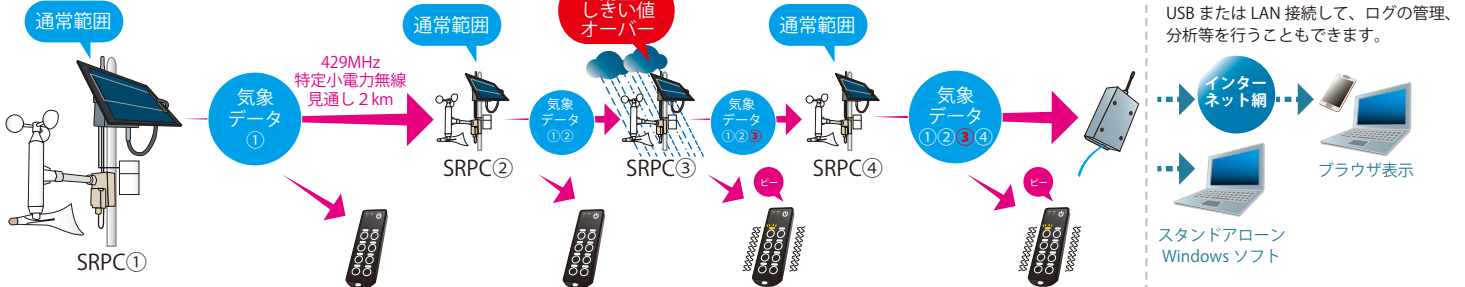
1対1の場合）通常時



1対1の場合）異常時



1対Nの場合）一箇所異常時



設定方法

各ボタンに、SRPC とセンサーのしきい値を登録できます。登録は、Windows 用ソフト（SRPC-Soft）で行います。

- ①SRPC-Soft を起動し、「ツール」→「ハンディ 警報機の設定」を選択すると右下の画面が表示されます。
- ②ハンディ 警報機を設定モードで起動した状態で、「ロック」ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
- ③SRPC-ID を選ぶと、自動で警報できるセンサーが変化します。
- ④センサーを選択し、しきい値を設定したのち「書込」ボタンを押すと、そのボタンの設定が完了します。

* 事前に設定した登録が残っている場合は「読込」ボタンを押すと、過去の設定が表示されます。

* 設定をファイルに保存、ファイルから「読込」することもできます。

- ⑤ハンディ 警報機を再起動します。設定した「しきい値」を超えたデータを受信すると、該当ボタンの LED とブザーとバイブで通知します。

* ボタンを押すとブザーとバイブは消えますが、LED の点灯は残ります。データがしきい値を下回って 1 分間経つと、LED も消灯します。

